



夏休みに「新しい私」発見!



この夏休み生徒たちは（先生も）様々なチャレンジをして、「新しい私」を発見しました。

看護師を体験しました 県立佐原病院インターンシップ



体験内容

はじめに佐原病院の説明を受け、施設見学をしました。次に実習を受ける階の師長さんのお話を伺いました。そのあと、実際に看護師の仕事体験しました。ベッドメイキングのような作業だけでなく、患者さんと触れ合う血圧測定や体温測定、ベッド移動、足洗いなどを体験させていただきました。

2年 関 恵里花さん

私は将来、看護師の職業に就きたいと考えています。そのためにはどのような進路に進んでいくべきなのかを2年生の時から意識し始めましたが、大学進学から先を考えることは難しいものでした。このインターンシップに参加することにより、将来自分がどのような看護師になりたいかという明確なビジョンが得られたように思います。そのビジョンの実現に向けて、日々の学業に励んでいこうと気持ちを新たにすることができました。

2年 大里 瑞穂さん

私はインターンシップを通して、看護師は身体のケアだけでなく、心のケアもすることを学びました。相手の話に親身に耳を傾けるコミュニケーション力と相手が何を望んでいるか想像する力が、私には不足していると感じさせられました。このように感じられたのは、めったに体験できないこのインターンシップだからこそと思います。とても良い経験でした。

医師を体験しました 旭中央病院 医師の夢応援セミナー



2年 飯森 優理さん

医師になることは幼いころからの夢でした。しかし、最近では、様々な不安からその夢を諦めようとしていました。そんな時に、このプロジェクトは私を変えてくれました。スタッフの方々が親切で、雰囲気もよく、憧れであった医師の方々の存在が身近に感じられ、とても有意義な時間を過ごせました。諦めかけていた夢が、このプロジェクトに参加し、絶対に叶えたい夢に変わりました。今は一生懸命勉学に励みたいと思います。

体験内容

病院の仕事全般の説明を受けた後、ドクターヘリ、手術室、血管撮影室、アセスメントの順に見学をしました。その後、医師のスタイルに着替えて、練習用の器具を使って縫合体験、実物の機械を使って超音波診断体験をしました。最後に医師の方々と質疑応答をしました。

千葉県立佐原高等学校

カナダに行ってきました 稲敷市海外親善派遣事業



体験内容

稲敷市の代表として、親善交流を続ける姉妹都市カナダ・サーモンアーム市を訪問し、サーモンアーム市の生活風土を体験しながら、住民の方々との相互理解と友好親善を深め、将来の稲敷市の発展、さらには世界の平和と人々の幸せのために貢献する活動に参加しました。

1年 平山 舞さん

私はこの派遣事業に参加して積極的に考え行動することの大切さを学びました。今までは自分の考えを発表することが苦手でしたが、この派遣事業に参加して自分の意見を人に伝えることの重要性を改めて実感しました。英語で会話をしているうちに「これはどうやって英語で表現すればいいんだろう」「もっと英語を知りたい、学びたい」と強く思いました。「積極手に学び、考え、伝える」私発見!

全国の高校生と語り合いました ハイスクールサミット in 東北



体験内容

未来の元気なまちづくり・みちづくりについて、参加者が4つのテーマに分かれて、意見を交換し、話し合いを深め、最終的には発表するものでした。また、国土交通省の方や仙台市民の方等とフロアディスカッションを行いました。最終日には津波の被害を受けた地域を見学しました。

2年 長谷川 菜穂さん

このサミットに参加していた高校生は、自分の意見をしっかり持っている人ばかりでした。そんな人たちと意見交換することでとても刺激を受けました。また、そこで友達になったみんなと「将来」について話すことができました。各地方、普段触れることができない同年代の子たちと語り合ったことで、今までよりも具体的に夢を見つめることができました。

2年 橋本 菜月さん

他校の高校生たちは、自分の意見をしっかり持っている人ばかりで、自分も見習わなければと思いました。私たちは「地域のまちづくり、みちづくりを考える」というテーマで話し合いました。自分たちの街の特徴、各地域の共通点、問題点、理想の街、これからの私たちにできることなど、様々なことを考えました。それらを考えていくうちに、もっと自分の地元を知っていかなければならないと思いました。そして、イベントにも積極的に参加して地域の人と交流していこうとも思いました。

エルサルバドルに行ってきました JICA 教師海外研修

体験内容

国際協力機構(JICA)が企画する教師海外研修に参加させていただきました。JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関であり、その事業現場を視察しました。派遣国はエルサルバドルという国です。この国は中米一国土が狭く、人口密度が高い上、災害も多いことから、「中米の日本」と呼ばれています。ここで国際協力に従事する青年海外協力隊や専門家の方の活動を視察してきました。



教諭 降矢 睦さん

海外研修に参加し、実際に目で見て感じた経験が、自分の中の無知な部分をより具体化してくれました。日本において、他者が切り取った情報だけを眺めて分かったつもりでいたことに改めて気づかされました。また、多くの熱意ある方々との出会いが、私自身に新たな力を与えてくれました。特に若手技術者の熱心な姿が、現在の高校生と重なり合い、将来この国を変えていくかもしれない彼らのために、自分ができることは何か、改めて考えさせられました。